

取扱説明書

マルチリーダー電気錠システム

ALPHA エントリーロック
PASSIVE KEY ENTRY LOCK® **WS800**

WS800-W-SH / WS800-W-SH-PFH



もくじ

電気式錠前取扱上の注意事項 1、2

はじめに

製品の概要	3
各部の名称	5

基本的な機能

2 ロックセキュリティ機能	7
携帯器の置き忘れ防止機能	7
携帯器の閉め忘れお知らせ機能 ..	8
不正開錠防止機能	10

基本的な使い方

電子キーで施錠/解錠する	11
室内から施錠/解錠する	13
手動で施錠 / 解錠する	14

その他の使い方

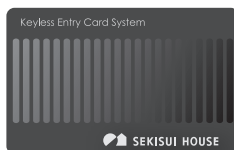
設定モードについて	15
自動施錠機能	17
HA 端子による外部機器連動 ..	19
電気錠コントローラによる外部機器連動 ..	21
警備連動機能	23
消音機能	25
タイマー施錠機能	27
スタンバイモード	28

キーの管理

携帯器の初回登録	29
カードキーの初回登録	31
携帯器の追加登録	33
カードキーの追加登録	35
セキュリティカードについて ..	36
電子キーを紛失した場合	37
携帯器の電池交換方法	38

困ったとき

施錠 / 解錠動作に異常が生じた場合 ..	39
停電や機器故障時の操作	39
電気錠・リーダー・増設操作盤の再登録 ..	40
故障かなと思ったら	43
仕 様	44



選択肢型チャットボット



QRコードを読み取り、画面右下のアイコンをクリックしてください。
よくあるお問い合わせについて、チャットボットが回答します。

お客様用
保存版

販売店・工務店の皆様へ
この取扱説明書は施工完了後、お客様へお渡しください。

■電気式錠前取扱上の注意事項

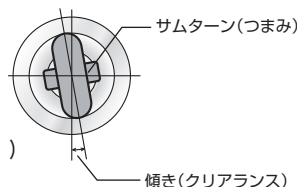


植込み型医療機器(心臓ペースメーカー等)の装着者が使用する場合は、リーダーから植込み型医療機器の装着部位を22cm以上離して使用してください。また、電波による医療用電気機器への影響については、担当医師や医療用電気機器製造業者などにご確認ください。

※リーダーの位置は、「各部の名称」をご覧ください。 **5** ページ

永くお使い頂くためにご留意頂きたいこと

- 精密な電子部品等を使っていますので分解や改造をしたり、強い衝撃をあたえたりしないでください。
- 散水による水洗いは避けてください。また、雨露の直接かからない場所でお使いください。
- 温泉地など特殊ガス発生地域、浴室などの多湿の場所では使用しないでください。
- 電池は、指定の電池をご使用ください。また、電池消耗警告があらわれなくても 2 年ごとに全てを新しい電池と交換してください。電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- 施錠操作後、サムターン(つまみ)に少し傾きが生じる場合があります。これは確実に電気操作でロックの施錠を行うためにクリアランスを設けているために生じる現象であり故障ではありません。
- 作動中(サムターンの回転中)及び電子音になっている間は、ハンドル・サムターンを操作しないでください。作動完了前(電子音が鳴り終わる前)にハンドル・サムターンを操作すると故障の原因となる場合があります。
- 施錠するとき、キーやサムターンがきちっと最後まで回ったことを確認してください。鎌式デッドボルト(かんぬぎ)が出て錠が掛かります。尚、施錠後はハンドルを操作して錠が掛かったことを確認してください。
- キーの抜き差しや回転操作が悪くなったら、柔らかい芯の鉛筆の粉や黒鉛粉、またはシリンダー専用の潤滑剤(粉末タイプ、シリコーンを含まないタイプ)を使用してください。鉛筆を使用する場合は、キーの切り込み面を鉛筆でなぞったあとキーで抜き差しを数回行ってください。錠穴には絶対に油を注さないでください。注入直後は操作が良好でもホコリを吸着してかえって動きを悪くします。また、シリコーンを含む潤滑剤を使用しないでください。故障の原因となります。
- コピーしたキーを使用した際、キーの抜き差しや回転操作が悪くなり、シリンダーに悪影響を及ぼすことがありますので錠メーカー純正キーをご使用ください。
- 錠穴に異物(例えば針金やマッチ棒など)を入れないでください。異物が詰まるとキーの操作ができなくなります。
- 経年変化により戸先の垂れ下がり、ソリ、曲がり、歪みなどが生じて枠と接触し、錠がスムーズに動かない場合があります。ドア全体の修理が必要となりますので速やかに建築物の管理責任者、施工業者または建具メーカーに依頼してください。
- 表面に保護シートが付いている場合は必ずがしてください。そのまま放置されますと、保護シートに着いている糊などの影響でサビが発生したり変色することがあります。
- 換気扇などの機械換気を行ったまま外出される場合は、換気口を必ず開けてください。開けていないと、室内の圧力差によって玄関ドアが室内側に引っ張られるため、パッシブ操作およびリモコン操作による機器での施錠/解錠ができなくなることがあります。



携帯器のお取り扱いについて

- ご購入時の電池は、動作確認用の電池です。
初めてお使いになる前に電池交換される事をおすすめします。 
- 玄関ドア周辺の電波環境（防犯カメラ設置等）により携帯器（電子キー）の作動可能な範囲が狭くなる場合があります。
- 携帯器が完全に静止していると置き忘れ防止機能により施錠、解錠ができなくなります。
少し揺らしながらご使用ください。 
- 携帯器を、水に濡らしたり、濡れた手で扱わないでください。
- 携帯器は電気錠操作盤から30cm以内には置かないでください。

ICカードのお取り扱いについて

- ICカードを車中に放置したり、日の当たる場所、ストーブのそばなど高温になる場所に放置しないでください。また、穴を開ける、強い衝撃を与える、折り曲げるなどすると破損、変形して使用できなくなる場合があります。
- 硬貨など金属のもの、アルミ箔や金属を含んだものや他の非接触ICカードと重ねて使うと反応しない場合があります。定期入れなどに他の非接触ICカードと一緒にに入れて使用しないでください。
- ICカードの紛失、盗難、水濡れ、き損に対しては責任を負いかねますので、お取り扱いにはご注意ください。

お手入れについて

- 長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れはシミや腐食の原因となります。汚れが軽い内に清掃してください。清掃の目安は少なくとも月に1～2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいのでこまめにお手入れをしてください。

お手入れ方法

- 製品の損傷、サビ、腐食、変色などを防止するために次のことをお守りください。
 1. やわらかい布でやさしく乾拭きしてください。ゴシゴシ強くこすらないでください。
 2. 落ちにくい汚れの場合は、水拭きし、乾いた布で十分に水分を拭き取ってください。
 - ・水が製品にかからないようご注意ください。
 - ・サンドペーパー、堅いブラシまたはシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

盗難悪用防止のために

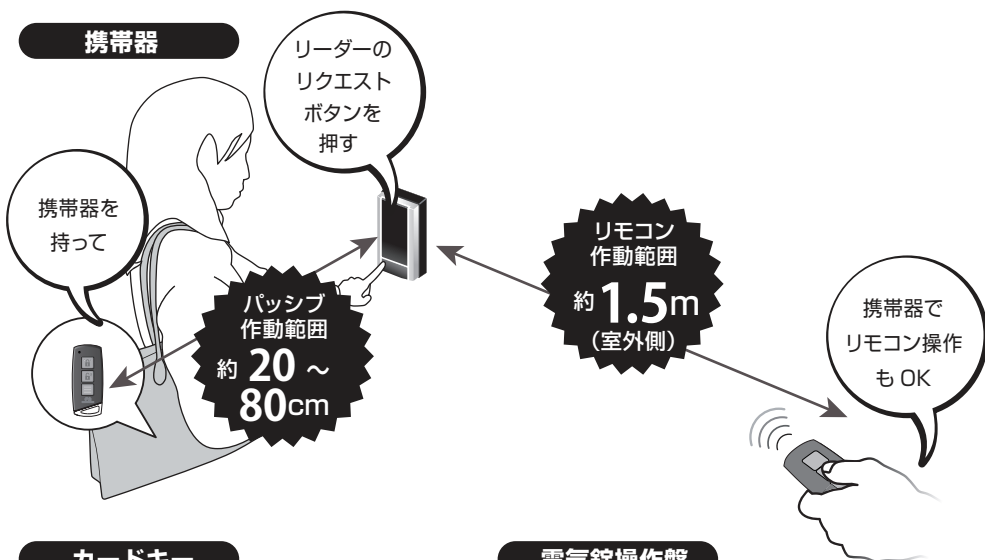
- 施錠忘れによる盗難等の被害が多くありますので施錠の確認は必ず行ってください。
- キー（あるいは携帯器など）には使用場所がわかる表示は付けないようにしてください。紛失したときに悪用される恐れがあります。
- 日常、キーを利用する必要のない電気式錠前でも機器の故障、停電（電池切れ）などに備えて非常キーは必ず持参してください。また、スペアキーは使用時以外は大切に保管しておいてください。

はじめに

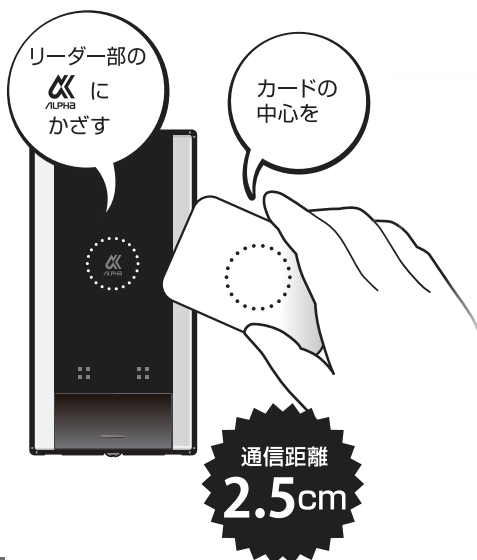
■製品の概要

本機は携帯器を身につけて（ポケットやカバンの中など）リーダーのリクエストボタンを押すこと（以下、パッシブ操作）で認証し、施錠 / 解錠ができる電気錠システムです。携帯器のボタンを押してリモコンとしても使用できます。また、カードキーをリーダー部にかざしても、施錠 / 解錠ができます。室内側からは、電気錠操作盤のボタン操作によりドアから離れた場所でも施錠 / 解錠ができます。

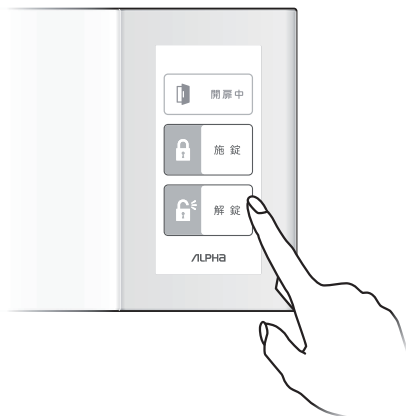
携帯器



カードキー



電気錠操作盤



※作動範囲は、設置環境により変化します。

携帯器は、追加でご購入いただくと合計で最大8個まで登録することが可能です。

29ページ



最大
8個
まで登録

ポイント

- パッシブ操作は携帯器が振動を検知しているときに認証します。
- 携帯器が静止していると施錠/解錠できません。少し揺らしてお使いください。

7ページ

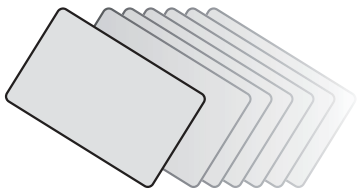


重要

- 携帯器を身につける場所によって、パッシブ操作が反応しない場合があります。

カードキーは、追加でご購入いただくと合計で最大20枚まで登録することが可能です。

25ページ

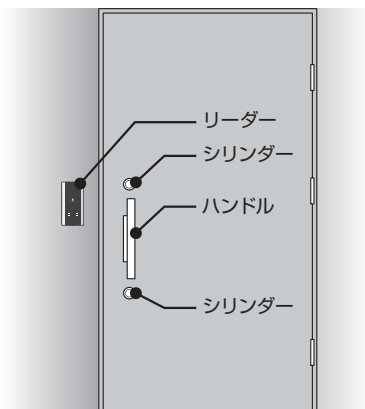


最大
20枚
まで登録

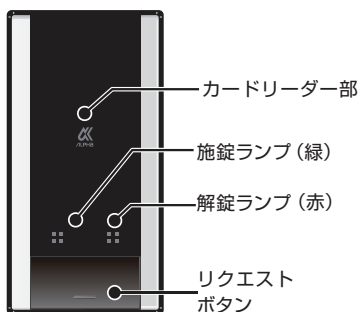
重要

- カードキーは非接触式ですので定期入れなどに入れたままでも認証が可能です。他のICカード乗車券、電子マネー、金属製(キーなど)のものと重ねて使用すると通信距離が短くなったり正しく照合できない場合があります。
- キーホルダーなどの硬いものがタッチパネルに当たらないように注意してください。タッチパネルが破損し、故障の原因となります。

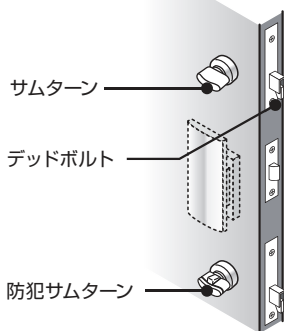
■各部の名称



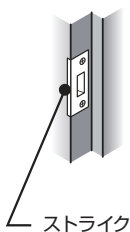
リーダー



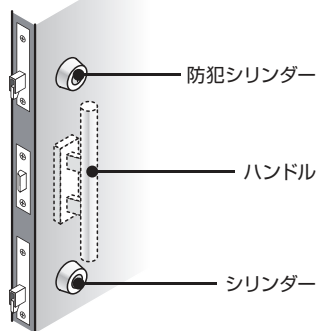
ドア内側



ドア枠



ドア外側



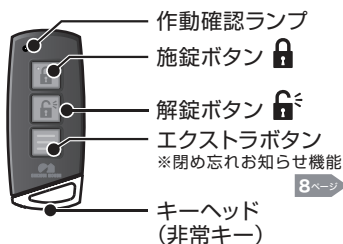
カードキー



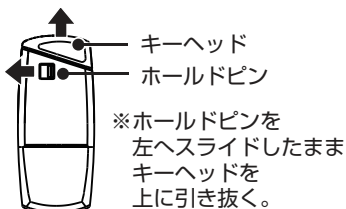
キー



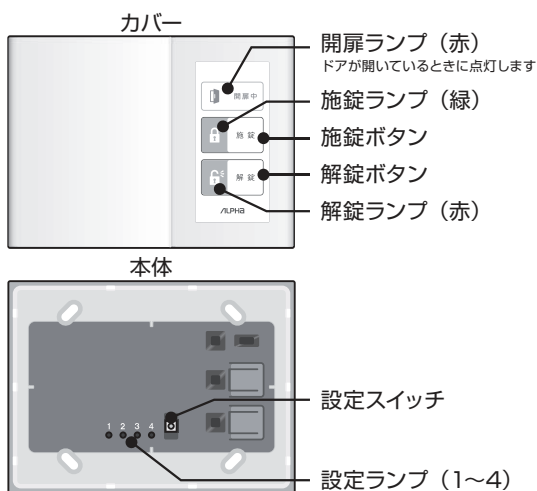
携帯器



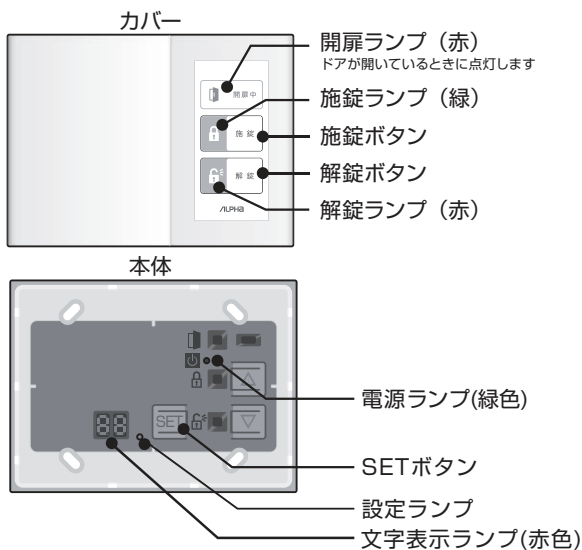
非常キーのはずし方



電気錠操作盤 (モデルCN-80,81,82)



電気錠操作盤 (モデルCN-83)



基本的な機能

■2 ロックセキュリティ機能

連動施錠

解錠状態時、上側のロックをキー（非常キー）・サムターンで手動施錠すると、下側のロックも連動して施錠されます。

ポイント

- “連動解錠”はできません。（ピッキング・サムターン回し対策）
- 扉が開いていると連動施錠しません。
- 下側のロックを手動施錠しても連動施錠しません。これは、上側のロックに手が届かないお子様が誤って下側のロックを手動施錠してしまったときに、室内に閉じ込められることを防ぐためです。

片掛かり施錠防止機能（常時 2 ロック施錠を保持します）

施錠状態時、どちらか一方のロックをキー（非常キー）・サムターンで手動解錠し、扉を開けずにそのままの状態にしておくと、25 秒後に自動施錠されます。

※両方のロックを解錠しても扉を開けなければ、最初のロックを解錠してから 25 秒後に自動施錠されます。

タイマー施錠機能

携帯器やカードキー、室内の電気錠操作盤で解錠し、扉を開けずにそのままの状態にしておくと、25 秒後に自動施錠されます。

重要

- 上記諸機能は、ピッキングなどによる不正解錠を完全に防止するものではありません。万が一の場合などの補償はございませんのでご了承ください。

■携帯器の置き忘れ防止機能

放置された携帯器がリーダーから約 2.5m 以内にあるとき、第三者のボタン操作による、意図しない解錠を防ぐために、「携帯器の置き忘れ防止機能」が働き、施解錠しないことがあります。

携帯器の置き忘れ防止機能

携帯器が完全に静止していると、置き忘れと判断して「置き忘れ防止機能」が働き、リーダーのリクエストボタンを押しても、電子音が「ピッピッピッ・・・」と鳴り、施錠 / 解錠されません。（置き忘れ状態の携帯器は一時的に使用できなくなっています。）携帯器を揺らして操作し、動きを感知すると、施解錠操作できるようになります。

「携帯器の置き忘れ防止機能」はありますが、防犯上、ドアから2.5m以内には携帯器を保管しないでください。

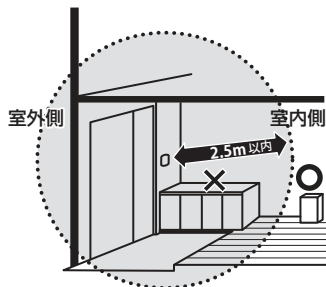
ポイント

- 電子音「ピッピッピッ・・・」の間に、携帯器を揺らすと施錠 / 解錠されます。

置き忘れ状態からの復帰

1 携帯器のボタンを押す

携帯器を揺らしながら、いずれかのボタンを押してください。

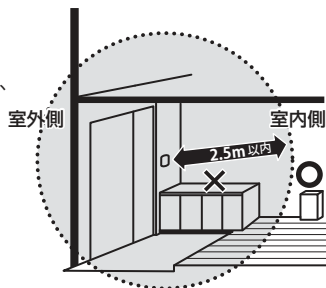


■携帯器のスリープ機能

携帯器をリーダーから約 2.5m の範囲に 1 分以上放置、または所持（静止状態）すると電池消耗を防ぐために、携帯器のスリープ機能が働き、スリープ状態になります。

スリープ状態の携帯器は、一時的にパッシブ操作ができなくなります。

「携帯器のスリープ機能」はありますが、防犯上、ドアから 2.5m 以内には携帯器を保管しないでください。



スリープ状態からの復帰

1 携帯器のボタンを押す

携帯器のいずれかのボタンを押してください。



■携帯器の閉め忘れお知らせ機能

携帯器の閉め忘れお知らせ機能とは、エクストラボタンを押した時の振動の有無により、閉め忘れをお知らせする機能です。

1 エクストラボタンを押す

その携帯器で最後にパッシブ施錠していた場合、携帯器が振動します。



！
重要

- 本機能は閉め忘れを完全に防止するものではありません。
- 携帯器の施錠ボタンを押して施錠した場合、エクストラボタンを押しても振動しません。
- 携帯器の電池が消耗していた場合、エクストラボタンを押しても振動しません。
- パッシブ解錠すると振動しなくなります。
- パッシブ施錠した時に交信範囲内にあった他の携帯器も、エクストラボタンを押すと振動します。（※スリープ状態の携帯器は除く）
- エクストラボタンを繰り返し押すと、携帯器の電池が消耗し、電池寿命が短くなります。

■携帯器の電池警告機能

携帯器の電池警告機能とは、携帯器のランプとリーダーのランプとブザーで携帯器の電池消耗をお知らせする機能です。

携帯器のランプでお知らせ

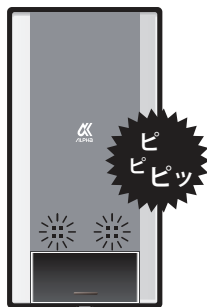
1 携帯器のいずれかのボタンを押す

電池が消耗していた場合、ランプが 2 回点滅します。

リーダーのランプとブザーでお知らせ

1 携帯器でリモコン・パッシブ操作をする

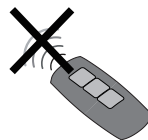
電池が消耗していた場合、電気錠が動作する前に「ピピピピピピッ」とブザー音とランプでお知らせします。



■ 携帯器の誤操作防止機能 (リモコン機能オフ)

携帯器の誤操作防止機能とは、ポケットやカバンの中で携帯器の施錠ボタンや解錠ボタンが押されてしまい、意図せず電気錠が動いてしまうことを防止するための機能です。

初期設定では無効状態です。



機能を有効にする

1 エクストラボタンを押す

携帯器のランプが点灯（閉め忘れお知らせ機能が働いている場合、さらに振動）します。

2 エクストラボタンを押したまま、施錠ボタンを押す

以降、携帯器の施錠ボタンや解錠ボタンを押しても電気錠は施解錠しません。



- 機能の有効設定時も、パッシブ操作は可能です。
- 10ページの完全無効化モードに設定された携帯器は、誤操作防止機能を有効にすることができません。



エクストラボタンを
押しながら
施錠ボタンを押す

機能を無効にする

1 エクストラボタンを押す

携帯器のランプが点灯（閉め忘れお知らせ機能が働いている場合、さらに振動）します。

2 エクストラボタンを押したまま、解錠ボタンを押す

以降、携帯器の施錠ボタンや解錠ボタンを押して電気錠を施解錠することができます。



エクストラボタンを
押しながら
解錠ボタンを押す

■不正開錠防止機能（パッシブ機能オフ）

悪意のある第三者の電波取得による不正開錠を防ぐ目的で、任意の携帯器のパッシブ機能を無効にすることができます。初期設定では通常モードに設定されています。

モード	モードの概要
完全無効化モード	任意の携帯器のパッシブ機能を無効にします →より確実に不正開錠を防止したい場合
一定時間無効化モード	携帯器で施錠後、その携帯器のパッシブ機能を一時的に無効にします →パッシブ機能の利便性を保ちながら不正開錠を防止したい場合
通常モード	パッシブ機能に制限をかけないモード →パッシブ機能の利便性を十分に活用したい場合

各無効化モードの動作

■ 完全無効化モード

パッシブ施解錠が常に使用できません。リモコン機能で電気錠の施解錠をしてください。

■ 一定時間無効化モード

パッシブ施錠・リモコン施錠をしてから5秒経過すると約5分間、その携帯器ではパッシブ施解錠を行うことができません。5分経過、または解錠ボタンを押すとパッシブ機能が有効になります。

ポイント

- 5分間の無効化中に施錠ボタンを押すと、無効化状態がさらに5分間延長されます。
- エクストラボタンの操作は、無効化機能には影響ありません。
- 無効化は電気錠のパッシブ操作のみです。共用部の通過およびリモコン操作は無効になりません。
- 完全無効化モードに設定すると、9へ→の誤操作防止機能は自動的に無効になります。
- 携帯器の電池を交換すると、5分間の無効化はリセットされます。

設定変更の方法

パッシブ作動範囲内で、携帯器のボタンを押しながらマルチリーダーのリクエストボタンを押すことで、モードを変更します。

1 携帯器のボタンを押す

扉を閉めた状態で、切り替えたいモードのボタンを押す。

ポイント

- このときの操作で電気錠が動作した場合、動作が完了してから2の操作をしてください。

2 携帯器のボタンを押したまま、リーダーのリクエストボタンを押す

モードが切り替わります。パッシブ操作をして確認してください。

ポイント

- 携帯器の電池交換をしても、モード設定は保持されます。
- モード設定は携帯器が記憶しています。携帯器毎に設定変更をしてください。
- 他の携帯器があると、正常に切り替えられない場合があります。設定時は、他の携帯器は離れた場所で保管してください。

モード	携帯器のボタン
完全無効化モード	解錠ボタン
一定時間無効化モード	施錠ボタン
通常モード	施錠ボタンと解錠ボタンの両方



基本的な使い方

■電子キーで施錠 / 解錠する

パッシブ施錠する場合

1 携帯器を持つ

携帯器は、ポケットやカバンに入れたまま、少し揺れている状態にしてください。

2 リーダーのリクエストボタンを押す

リーダーのリクエストボタンを押してください。
携帯器が認証され、電子音「ビッ」が鳴ります。

3 2ロックとも施錠される

2ロックとも施錠され、電子音「ピー」が鳴り
リーダーの施錠ランプ（緑色）が一定時間点灯します。



リモコン施錠する場合

1 携帯器の施錠ボタンを押す

 マークのボタンを押してください。
携帯器が認証され、電子音「ビッ」が鳴ります。

2 2ロックとも施錠される

2ロックとも施錠され、電子音「ピー」が鳴り
リーダーの施錠ランプ（緑色）が一定時間点灯します。



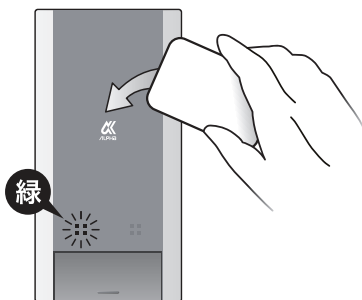
カードキーで施錠する場合

1 カードキーをリーダー部にかざす

カードキーをリーダー部の  にかざします。
カードキーが認証され、電子音「ビッ」が鳴ります。

2 2ロックとも施錠される

2ロックとも施錠され、電子音「ピー」が鳴り
リーダーの施錠ランプ（緑色）が一定時間点灯します。



パッシブ解錠する場合

1 携帯器を持つ

携帯器は、ポケットやカバンに入れたまま、少し揺れている状態にしてください。

2 リーダーのリクエストボタンを押す

リーダーのリクエストボタンを押してください。
携帯器が認証され、電子音「ピッ」が鳴ります。

3 2ロックとも解錠される

2ロックとも解錠され、電子音「ピピッ」が鳴り
リーダーの解錠ランプ(赤色)が一定時間点灯します。



リモコン解錠する場合

1 携帯器の解錠ボタンを押す

マークのボタンを押してください。
携帯器が認証され、電子音「ピッ」が鳴ります。

2 2ロックとも解錠される

2ロックとも解錠され、電子音「ピピッ」が鳴り
リーダーの解錠ランプ(赤色)が一定時間点灯します。



カードキーで解錠する場合

1 カードキーをリーダー部にかざす

カードキーをリーダー部の にかざします。
カードキーが認証され、電子音「ピッ」が鳴ります。

2 2ロックとも解錠される

2ロックとも解錠され、電子音「ピピッ」が鳴り
リーダーの解錠ランプ(赤色)が一定時間点灯します。



●解錠後、ドアを開けずに約25秒たつと2ロックとも自動で施錠されます。

■室内から施錠 / 解錠する

電気錠操作盤で施錠する場合

1 施錠ボタンを押す

開扉ランプが消えている状態で施錠ボタンを押します。

2 2ロックとも施錠される

2ロックとも施錠され、電気錠操作盤の施錠ランプ(緑)が点灯します。

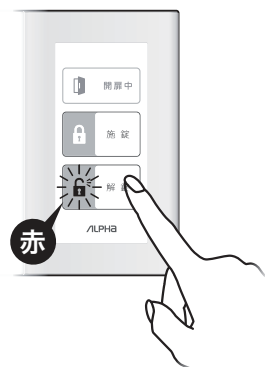


電気錠操作盤で解錠する場合

1 解錠ボタンを押す

2 2ロックとも解錠される

2ロックとも解錠され、電気錠操作盤の解錠ランプ(赤)が点灯します。



■手動で施錠 / 解錠する

サムターンで施錠する場合

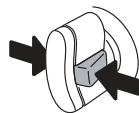
1 上側のサムターンをまわす

上側のサムターンを施錠方向に回します。

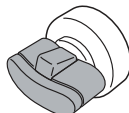
防犯サムターンはボタンをつまみながら

2 下側のサムターンは連動施錠される

連動施錠機能の働きで上側を施錠すると下側の錠を自動施錠して常に2ロック施錠状態を保持します。



施錠方向に回す



ポイント

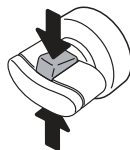
- 下側のサムターンを回しても、上側のサムターンは連動施錠しません。
- 下側のサムターンは防犯サムターンですので、つまみの両脇にあるボタンをつまみながらサムターンを回してください。

サムターンで解錠する場合

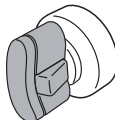
1 2つのサムターンをまわして解錠させる

上下2つのサムターンを解錠方向に回して解錠させます。

防犯サムターンはボタンをつまみながら



解錠方向に回す

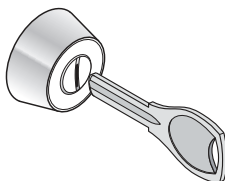


ポイント

- 防犯サムターンを回す場合は、つまみの両脇にあるボタンをつまみながらサムターンを回してください。
- 片方のサムターンのみ解錠させたまま約25秒たつと自動施錠して常に2ロック施錠状態を保持します。
- 防犯のためサムターンでの解錠操作の場合は上側のサムターンを回しても、下側のサムターンは連動して動作しません。(ピッキング、サムターン回し対策機能)
- 解錠後、ドアを開けずに約25秒たつと2ロックとも自動施錠されます。

キーで施錠/解錠する場合

外側からキーによる解錠も可能です。この場合、上記サムターンで施錠/解錠する場合と同じ動作仕様となります。



ポイント

- 解錠後、ドアを開けずに約25秒たつと2ロックとも自動施錠されます。

その他の使い方

■設定モード (P15～P28 は設定モードの機能説明です。)

設定モードでは、各種機能の設定変更や携帯器・カードキーなどの登録をすることができます。
設定モードは電気錠操作盤を操作して切り替えます。

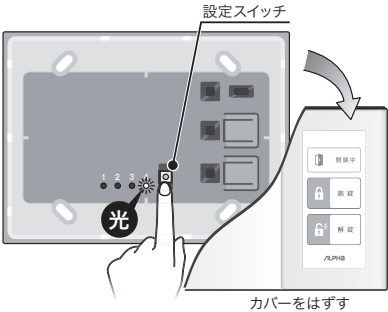
ポイント

- 設定モード中は、電子キー及び操作盤での施解錠操作ができません。
- 3分間何も操作しないと自動的に設定モードを終了します。

設定モードに切り替える(モデル CN-80,81,82)

1 電気錠操作盤のカバーを外す
カバーの裏のすき間に指を入れて外します。

2 設定スイッチを押し続ける
設定スイッチを設定ランプ4が点灯するまで押し続けます。



基本操作(モデル CN-80,81,82)

設定スイッチを押す毎に、設定ランプの表示が変化します。
設定ランプの表示は、下記設定項目・モード一覧と対応しています。

設定項目・モード一覧(モデル CN-80,81,82)

設定ランプ				モード名称	詳細頁
1	2	3	4		
●	●	※	※	HA 機器及び電気錠コントローラ有効・無効設定モード	19ページ 21ページ
●	※	●	●	HA 機器解錠制限の設定モード	20ページ
●	※	●	※	警備システムの設定モード	23ページ
●	※	※	●	自動施錠機能の設定モード	17ページ
●	※	※	※	手動解錠での警備解除の設定モード	23ページ
※	●	●	●	消音機能	25ページ
※	●	※	※	電気錠の登録モード	40ページ
※	※	●	※	リーダーの登録モード	41ページ
※	※	※	●	増設操作盤の登録モード	42ページ
※	※	※	※	ID 登録モード	29～32ページ

※上表にない設定ランプの表示中は 施錠ボタン、解錠ボタンの操作をしないでください

設定モードを終了する(モデル CN-80,81,82)

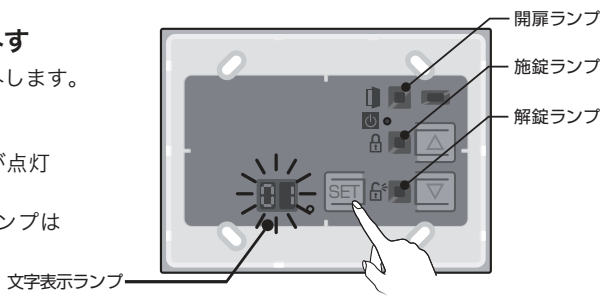
全ての設定ランプが消灯するまで設定スイッチを繰り返し押すと設定モードを終了します。

※この操作をすることなく設定モードを終了する項目もあります。
詳細は、各設定モードのページを参照してください。

設定モードを開始する(モデル CN-83)

- 1 電気錠操作盤のカバーを外す
カバー裏のすき間に指を入れて外します。

- 2 SET ボタンを押し続ける
SET ボタンを文字表示 "0 1" が点灯するまで押し続けます。
開扉ランプ、施錠ランプ、解錠ランプは消灯します。



基本操作(モデル CN-83)

△ボタンまたは▽ボタンを押す毎に、文字表示ランプが変化します。
文字表示は、下記設定項目・モード一覧と対応しています。

設定項目・モード一覧(モデル CN-83)

● 設定項目

文字表示	名称	出荷時	詳細頁
0 1	(変更禁止)	有効	—
0 2	(変更禁止)	有効	—
0 3	HA 機器 1	無効	19~20 ページ
0 4	HA 機器 1 からの解錠	有効	
0 5	HA 機器 2	無効	
0 6	HA 機器 2 からの解錠	有効	21~22 ページ
0 7	電気錠コントローラ	無効	
0 8	電気錠コントローラからの解錠	有効	23~24 ページ
0 9	警備連動	無効	
1 0	手動警備解除	無効	17~18 ページ
1 1	自動施錠	無効	
1 2	自動施錠(ALL)	無効	27 ページ
1 3	タイマー施錠	有効	
1 4	消音機能	無効	25~26 ページ
1 5	(変更禁止)	無効	

● モード一覧

文字表示	名称	詳細頁
1 6	電気錠登録モード	40 ページ
1 7	リーダーの登録モード	41 ページ
1 8	増設操作盤登録モード	42 ページ
1 9	ID登録モード	29~32 ページ
2 0	スタンバイモード	28 ページ
2 1	ネットワーク管理モード	—
FF	設定モード終了	—

※ "0 1" 表示時に▽ボタンを押すと "F F" 表示となります
※ "F F" 表示時に△ボタンを押すと "0 1" 表示となります

設定モードを終了する(モデル CN-83)

※この操作をすることなく設定モードを終了する項目もあります。
詳細は、各設定モードのページを参照してください。

- 1 表示を "FF" にする
表示が FF になるように、△ボタンまたは▽ボタンを繰り返し押してください。
- 2 SET ボタンを押す
SET ボタンを押すと設定モードを終了します。

■ 自動施錠機能

帰宅時、解錠後室内に入ってから施錠操作を行う手間を軽減する機能です。
初期設定では自動施錠機能は設定されていません。



- 自動施錠機能を設定した場合、解錠手段を持たずに外に出てドアを閉めると戸外に閉め出されることになります。この設定により、こうした事態が発生することを十分にご理解いただいた上で、ご使用ください。

自動施錠の動作

パターン	設定時の動作
設定無効 (工場出荷時)	自動施錠しません。
自動施錠	リモコン・パッシブ・カードで解錠後に扉を閉めると自動施錠します。 ※キー、サムターン、電気錠操作盤、増設操作盤で解錠した後は自動施錠しません。
自動施錠(ALL)	解錠方法にかかわらず、扉を閉めるとかならず施錠します。



- 自動施錠 (ALL) はモデルCN-83でのみ設定可能です。

自動施錠機能の設定(モデル CN-80,81,82)

1

設定モードにする

設定モードに切り替えてください。15ページ

2

設定スイッチを設定ランプ2と3がつくまで押す

設定スイッチを5回押して
設定ランプ2と3を点灯させてください。

有効にする場合

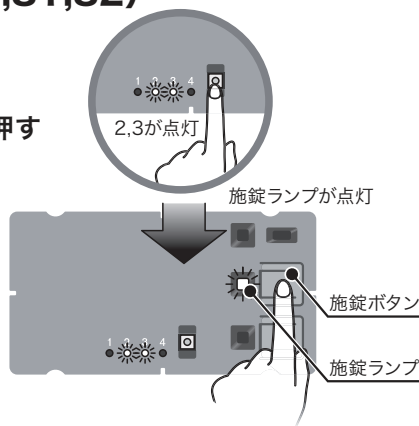
電気錠操作盤の施錠ボタンを押す

施錠ランプが点灯します。

無効にする場合

電気錠操作盤の解錠ボタンを押す

解錠ランプが点灯します。



3

設定モードを終了する

全ての設定ランプが消灯するまで設定スイッチを繰り返し押して設定モードを終了してください。

自動施錠機能の設定(モデル CN-83)

1 設定モードにする

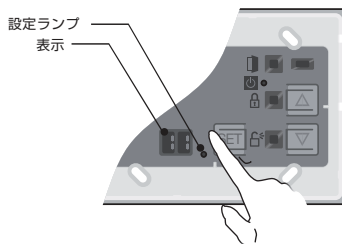
設定モードに切り替えてください。16ページ

2 表示を“11”及び“12”にして、設定確認する

△ボタンを10回押して表示を“11”に合わせ
右表を参考に、設定ランプを点灯または消灯させて、
パターンを選択してください。

設定ランプの消灯 / 点灯は SET ボタンを押すと、
切り替わります。

つづけて、△ボタンを1回押して、“12”表示中の
設定ランプの状態を確認し、設定してください。



● 設定ランプの状態：自動施錠機能

パターン	表示：11	表示：12
設定無効	ランプ消灯	
自動施錠	ランプ点灯	ランプ消灯
自動施錠(ALL)	ランプ点灯	ランプ点灯

3 設定モードを終了する

設定モードを終了してください。16ページ

■HA 端子による外部機器連動

インターホンなど HA (JEM-A) 機器から、施錠操作と電気錠の状態確認ができます。
機器によって動作しない場合がありますので、ご使用の場合は事前にご確認ください。

HA(JEM-A) 機器連動の動作

HA (JEM-A) 機器は最大 2 台まで接続することができます。(モデル CN-80 は最大 1 台)
設定無効時においても、HA (JEM-A) 機器の電気錠状態表示は本システムと連動します。

パターン	設定時の動作
設定無効 (工場出荷時)	HA (JEM-A) 機器からは、施錠・解錠操作ができません。
設定有効 ※施錠のみ許可	HA (JEM-A) 機器から、施錠操作ができるようになります。(解錠制限)
設定有効 ※施錠解錠許可	HA (JEM-A) 機器から、施錠・解錠操作ができるようになります。

HA 機器の有効・無効設定(モデル CN-80,81,82)

1 設定モードにする

設定モードに切り替えてください。 **15**へ

2 設定スイッチを設定ランプ 3 と 4 がつくまで押す

設定スイッチを 2 回押して設定ランプ 3 と 4 を点灯させてください。

3 施錠スイッチを 5 秒長押しする

施錠スイッチを 5 秒長押ししてください。設定ランプ 4 と開扉ランプが点灯します。

4 HA (JEM-A) 機器 1 の設定

有効にする場合

施錠ボタンを押してください。施錠ランプが点灯します。

無効にする場合

解錠ボタンを押してください。解錠ランプが点灯します。

5 設定スイッチを 1 回押す

設定スイッチを 1 回押してください。設定ランプ 3 が点灯します。

6 HA (JEM-A) 機器 2 の設定

有効にする場合

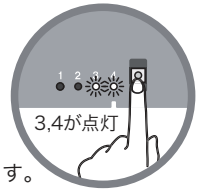
施錠ボタンを押してください。施錠ランプが点灯します。

無効にする場合

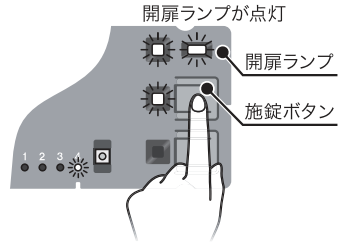
解錠ボタンを押してください。解錠ランプが点灯します。

7 設定モードを終了する

全ての設定ランプが消灯するまで設定スイッチを繰り返し押して設定モードを終了してください。



施錠ボタン
5 秒長押し



設定によって施錠ランプと
解錠ランプのいずれかが点灯

HA 機器解錠制限の設定(モデル CN-80,81,82)

1 設定モードにする

設定モードに切り替えてください。15ページ

2 設定スイッチを設定ランプ2がつくまで押す

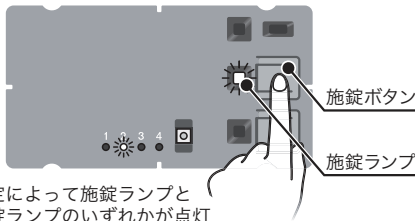
設定スイッチを3回押して設定ランプ2を点灯させてください。

3 HA 機器の解錠制限をする場合

解錠ボタンを押してください。
解錠ランプが点灯します。

HA 機器の解錠制限を解除する場合

施錠ボタンを押してください。
施錠ランプが点灯します。



設定によって施錠ランプと解錠ランプのいずれかが点灯

4 設定モードを終了する

全ての設定ランプが消灯するまで設定スイッチを繰り返し押して設定モードを終了してください。



- モデル CN-81,82 は HA 機器 1、HA 機器 2 それぞれ個別に解錠制限をかけることができません。

HA 機器の有効・無効設定(モデル CN-83)

1 設定モードにする

設定モードに切り替えてください。16ページ

2 表示を“03”～“06”にして、設定確認する

△ボタンを2回押して表示を“03”に合わせ
右表を参考に、設定ランプを点灯または消灯させて、
パターンを選択してください。

設定ランプの消灯 / 点灯は、SET ボタンを押すと、
切り替わります。

つづけて、△▽ボタンを押して、“04”、“05”、“06”表示中の
設定ランプの状態を確認し、それぞれ設定してください。

3 設定モードを終了する

設定モードを終了してください。16ページ

- 設定ランプの状態：HA(JEM-A)機器 1

パターン	表示 : 03	表示 : 04
設定無効	ランプ消灯	
施錠のみ許可	ランプ点灯	ランプ消灯
施解錠許可	ランプ点灯	ランプ点灯

- 設定ランプの状態：HA(JEM-A)機器 2

パターン	表示 : 05	表示 : 06
設定無効	ランプ消灯	
施錠のみ許可	ランプ点灯	ランプ消灯
施解錠許可	ランプ点灯	ランプ点灯

HA機器で操作する

1 HA機器のボタンを押す

施錠中であれば解錠し、解錠中であれば施錠します。



- ドアが閉まっていないと施錠しません。

■電気錠コントローラによる外部機器連動

電気錠コントローラから、施錠・解錠の操作をすることができます。

機器によって動作しない場合がありますので、ご使用の場合は事前にご確認ください。

電気錠コントローラ連動の動作

電気錠コントローラは最大1台まで接続することができます。(モデル CN-80 は接続不可)

設定無効時においても、電気錠コントローラの電気錠状態表示は本システムと連動します。

パターン	設定時の動作
設定無効 (工場出荷時)	電気錠コントローラからは、施錠・解錠操作ができません。
設定有効 ※施錠のみ許可	電気錠コントローラから、施錠操作ができるようになります。(解錠制限)
設定有効 ※施解錠許可	電気錠コントローラから、施錠・解錠操作ができるようになります。



- 電気錠コントローラの解錠制限は CN-83 のみ設定可能です。

電気錠コントローラの有効・無効設定(モデル CN-80,81,82)

1 設定モードにする

設定モードに切り替えてください。 **15ページ**

2 設定スイッチを設定ランプ3と4がつくまで押す

設定スイッチを2回押して設定ランプ3と4を点灯させてください。

3 施錠スイッチを5秒長押しする

施錠スイッチを5秒長押ししてください。

設定ランプ4と開扉ランプが点灯します。

4 設定スイッチを2回押す

設定スイッチを2回押してください。設定ランプ3と4が点灯します。

5 電気錠コントローラの設定

有効にする場合

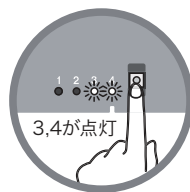
施錠ボタンを押してください。施錠ランプが点灯します。

無効にする場合

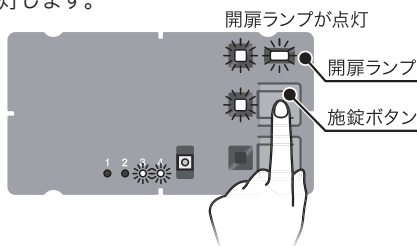
解錠ボタンを押してください。解錠ランプが点灯します。

6 設定モードを終了する

全ての設定ランプが消灯するまで設定スイッチを
繰り返し押して設定モードを終了してください。



施錠ボタン5秒長押し、
設定スイッチを2回押す



設定によって施錠ランプと
解錠ランプのいずれかが点灯

電気錠コントローラの有効・無効設定(モデル CN-83)

1 設定モードにする

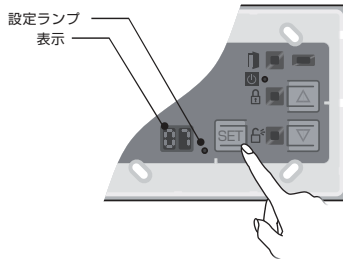
設定モードに切り替えてください。16ページ

2 表示を“07”及び“08”にして、設定確認する

△ボタンを6回押して表示を“07”に合わせ
右表を参考に、設定ランプを点灯または消灯させて、
パターンを選択してください。

設定ランプの消灯 / 点灯は、SET ボタンを押すと、
切り替わります。

つづけて、△ボタンを1回押して、“08”表示中の
設定ランプの状態を確認し、設定してください。



● 設定ランプの状態：電気錠コントローラ

パターン	表示：07	表示：08
設定無し	ランプ消灯	
施錠のみ	ランプ点灯	ランプ消灯
施錠・解錠	ランプ点灯	ランプ点灯

3 設定モードを終了する

設定モードを終了してください。16ページ

電気錠コントローラで操作する

ご利用の電気錠コントローラの取扱説明書を参照してください。



- ドアが閉まっていないと施錠しません。

■ 警備連動機能

警備会社の警備システムを導入している場合、下記の操作で設定・操作を行うと、施錠 / 解錠と同時に警備会社の警備システムをセット・解除できます。(警備システムにより、対応しないものもあります。)

警備連動の動作

パターン	設定時の動作
設定無効 (工場出荷時)	警備システムとは連動しません。
設定有効 ※電子キーのみ	警備システムと連動し、電子キーで解錠時に解除します。
設定有効 ※電子キー・手動	警備システムと連動し、電子キー・キー・サムターンで解錠時に解除します。

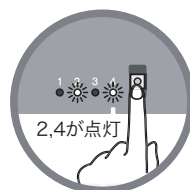
警備連動機能の設定(モデル CN-80,81,82)

1 設定モードにする

設定モードに切り替えてください。 **15ページ**

2 設定スイッチを設定ランプ2と4がつくまで押す

設定スイッチを4回押して設定ランプ2と4を点灯させてください。



3 警備連動の設定

有効にする場合

施錠ボタンを押してください。施錠ランプが点灯します。

無効にする場合

解錠ボタンを押してください。解錠ランプが点灯します。

4 設定スイッチを2回押す

設定スイッチを2回押してください。設定ランプ2と3と4が点灯します。

5 警備解除方法の設定

電子キー・手動にする場合

施錠ボタンを押してください。施錠ランプが点灯します。

電子キーのみにする場合

解錠ボタンを押してください。解錠ランプが点灯します。



6 設定モードを終了する

設定スイッチを全ての設定ランプが消灯するまで繰り返し押して設定モードを終了してください。

警備連動機能の設定(モデル CN-83)

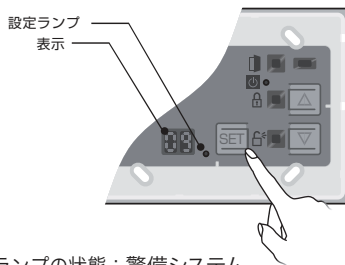
1 設定モードにする

設定モードに切り替えてください。 **16ページ**

2 表示を“09”及び“10”にして、設定確認する

△ボタンを8回押して表示を“09”に合わせ
右表を参考に、設定ランプを点灯または消灯させて、
パターンを選択してください。

設定ランプの消灯 / 点灯は、SET ボタンを押すと、
切り替わります。



● 設定ランプの状態：警備システム

つづけて、△ボタンを1回押して、“10”表示中の
設定ランプの状態を確認し、設定してください。

パターン	表示：09	表示：10
設定無し	ランプ消灯	
電子キーのみ	ランプ点灯	ランプ消灯
電子キー・手動	ランプ点灯	ランプ点灯

3 設定モードを終了する

設定モードを終了してください。 **16ページ**

警備をセットする(携帯器の場合)

1 パッシブ施錠する

パッシブ施錠をしてください。 **11ページ**

その際、はじめにリクエストボタンを押してから

2 の表示ができるまでボタンから指を離さずに押し続けてください。

2 警備セットされ、ブザー音が「ピーーーーー」と鳴る

施錠に成功し、電子音「ピー」鳴った後もボタンを押し続けると
「ピーーーーー」と長く鳴り、施錠ランプが点灯し警備がセットされます。



警備をセットする(カードキーの場合)

1 カード施錠する

カードキーで施錠をしてください。 **11ページ**

その際、はじめにカードキーをかざしてから

2 の表示ができるまでカードキーを離さずにかざし続けてください。

2 警備セットされ、ブザー音が「ピーーーーー」と鳴る

施錠に成功し、電子音「ピー」鳴った後もカードをかざし続けると
「ピーーーーー」と長く鳴り、施錠ランプが点灯し警備がセットされます。



警備を解除する

1 電子キーで解錠する

電子キーで解錠すると、同時に警備も解除され解錠ランプ(赤)が点滅します。



● 設定により、手動解錠でも警備を解除することができます。

■消音機能

普段の操作音が気になる場合に、消音設定にすることができます。

消音機能の動作

パターン	設定時の動作
設定無し (工場出荷時)	全てのブザー音が鳴ります
消音	一部ブザー音が停止します

消音設定できる音

- 施錠完了時のブザー音「ピー」
- 解除完了時のブザー音「ピピッ」
- 認証音「ビッ」
- 警備セット時のブザー音「ピー——」
- 警備リセット時のブザー音「ピピピッ」



以下の項目は消音設定にかかわらず、必ず音が鳴ります。

- 施解錠エラー時の警告音及び認証エラー時の音
- 登録操作時の操作音
- 置き忘れ警告音

消音機能の設定（モデルCN-80,81,82）

1 設定モードにする

設定モードに切り替えてください。

2 設定スイッチを設定ランプ1がつくまで押す

設定スイッチを7回押して設定ランプ1を点灯させてください。

3 消音機能の設定

有効にする場合

施錠ボタンを押してください。施錠ランプが点灯します。

無効にする場合

解錠ボタンを押してください。解錠ランプが点灯します。



4 設定モードを終了する

設定スイッチを全ての設定ランプが消灯するまで繰り返し押して設定モードを終了してください。

消音機能の設定（モデルCN-83）

1 設定モードにする

設定モードをに切り替えてください。 

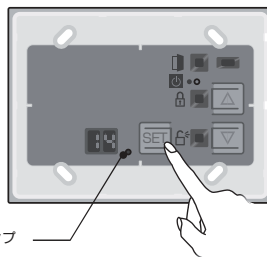
2 表示を“14”にして、設定確認する

△ボタンを13回押して表示を“14”に合わせ
右表を参考に、設定ランプを点灯または消灯させて、
パターンを選択してください。

設定ランプの消灯 / 点灯は、SET ボタンを押すと、
切り替わります。

3 設定モードを終了する

設定モードを終了してください。 



設定ランプ

● 設定ランプの状態：消音設定

パターン	表示：14
設定無し	ランプ消灯
消音	ランプ点灯

■タイマー施錠機能設定(モデル CN-83)

タイマー施錠機能の動作

電子キー、サムターン、キー及び操作盤で解錠し、扉を開けずにそのままの状態にしておくと、25 秒後に自動施錠されます。

パターン	設定時の動作
設定無し	電子キー、サムターン及びキーによる解錠後に、タイマー施錠します。 ※室内の操作盤から解錠操作をした後は、タイマー施錠しません。
常時タイマー施錠 (工場出荷時)	解錠後は、常時タイマー施錠します。



- タイマー施錠については、**7ページ**を参照してください。
- 電子キー、サムターン及びキーによる解錠後のタイマー施錠は無効にできません。
- モデル CN-80,81,82 は解錠後、常時タイマー施錠します。

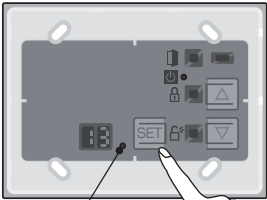
タイマー施錠機能の設定

- 1 設定モードにする**
設定モードに切り替えてください。 **16ページ**➡
- 2 表示を“13”にして、設定確認する**

△ボタンを 12 回押して表示を “13” に合わせ
右表を参考に、設定ランプを点灯または消灯させて、
パターンを選択してください。

設定ランプの消灯 / 点灯は、SET ボタンを押すと、
切り替わります。

- 3 設定モードを終了する**
設定モードを終了してください。 **16ページ**➡



設定ランプ

- 設定ランプの状態：タイマー施錠

パターン	表示 : 13
設定無し	ランプ消灯
常時タイマー施錠	ランプ点灯

■スタンバイモード(モデル CN-83)

スタンバイモードの動作

メンテナンスや長期外出時などに、接続されている機器への電源供給を停止させることができます。

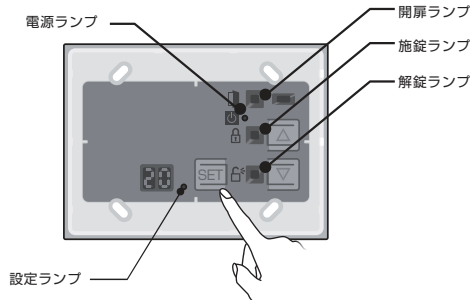
パターン	設定時の動作
設定無し (工場出荷時)	通常通り、ご利用いただけます。
スタンバイモード	接続されている機器への電源供給を停止します。 ※リーダー、増設操作盤、電気錠が機能停止します。



- スタンバイモード設定中も、電気錠操作盤自体には電源が供給されます。
- スタンバイモードはモデル CN-83 のみ設定できます。

スタンバイモードの設定

- 1 設定モードにする**
設定モードに切り替えてください。 **16ページ**
- 2 表示を“20”にする**
△ボタンを 19 回押して表示を “20” に合わせてください。
- 3 SET ボタンを 2 秒押す**
電源ランプ・施錠ランプ・解錠ランプ・開扉ランプが消灯、設定ランプが点灯し、スタンバイモードに移行します。
- 4 (復帰時)SET ボタンを 2 秒押す**
通常動作に戻ります。



● 設定ランプの状態：スタンバイモード

パターン	表示: 20
設定無し	ランプ消灯
スタンバイモード	ランプ点灯

キーの管理

■携帯器の初回登録

ひとつも携帯器が登録されていない初期状態から、携帯機を登録するときの登録方法です。

登録したい携帯器を**全て**用意して、次の手順で操作してください。

万が一の閉め出しを防ぐために、必ず扉を開けた状態で操作してください。

携帯器を登録する

1 携帯器のエクストラボタンを押しながら解錠ボタンを押す

登録する全ての携帯器に対して行ってください。



エクストラボタンを
押しながら
解錠ボタンを押す

2 設定モードにする

設定モードに切り替えてください。

15~16ページ

3 ID登録モードを開始する

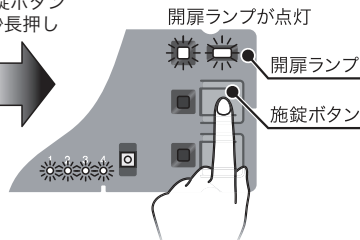
(モデル CN-80,81,82)

設定ランプの全てが点灯するまで
設定スイッチを14回押して
ください。

電気錠操作盤の施錠ボタンを
2秒長押ししてください。
開扉ランプが点灯します。



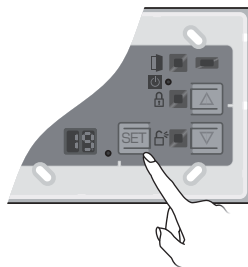
施錠ボタン
2秒長押し



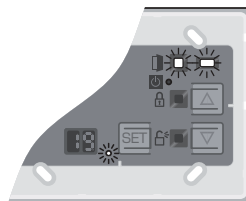
(モデル CN-83)

表示が"19"になるように、
△ボタンを
18回押してください。

電気錠操作盤のSETボタンを
2秒長押ししてください。
開扉ランプと設定ランプが
点灯します。



SETボタン
2秒長押し



開扉ランプと設定ランプが点灯

4 解錠ランプを確認

室外に出て、リーダーの解錠ランプ(赤色)が点灯していることを確認してください。登録終了まで点灯します。

5 リーダーのリクエストボタンを 8 の操作終了まで押し続ける

6 登録したい携帯器のボタンを 2 回押す

どのボタンでも登録できます。

1 回目に押した後、電子音「ビッ」と鳴り、

2 回目に押した後、正しく登録されると電子音「ピー」と鳴り、施錠ランプ(緑色)が点灯します。

携帯器のボタンを 2 回押す
(リーダーとの距離は 20~80cm)



- 電子音「ピーピーピー」が鳴るときはエラーです。もう一度 **5** の操作をしてください。
- 携帯器は**最大 8 個**まで登録が可能です。9 個目を登録しようとする、電子音「ピーピーピー」が鳴り、エラーとなります。

7 さらに追加登録する場合は 5 6 を繰り返す

8 登録モードを終了する

設定スイッチ(モデル CN-83 の場合 SET ボタン)を押すと登録モードが終了します。終了時、リーダーで登録数のカウント表示をします。 **32** ➡

9 登録した携帯器の動作確認をする

ドアを閉め、登録した全ての携帯器で施錠 / 解錠操作ができるか確認してください。その際、キー(非常キー)は必ず所持してください。

続けてカードキーも登録する場合は、カードキーを登録してください。

2 枚以上のドアに登録する場合は、 **36** ➡ を参照してください。

■カードキーの初回登録

1 枚もカードキーが登録されていない初期状態から、カードキーを登録するときの登録方法です。
登録したいカードキーを**全て**用意して次の手順で操作してください。
万が一の閉め出しを防ぐために、必ず扉を開けた状態で操作してください。

カードキーを登録する

1 設定モードにする

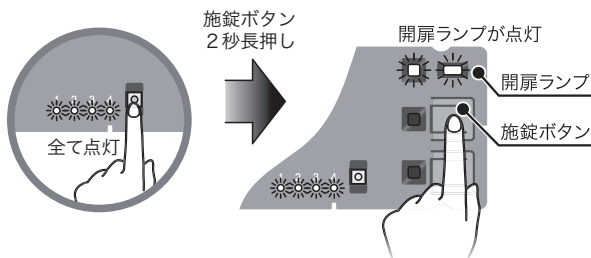
設定モードに切り替えてください。 **15~16ページ**

2 ID 登録モードを開始する

(モデル CN-80,81,82)

設定ランプの全てが点灯するまで
設定スイッチを 14 回押して
ください。

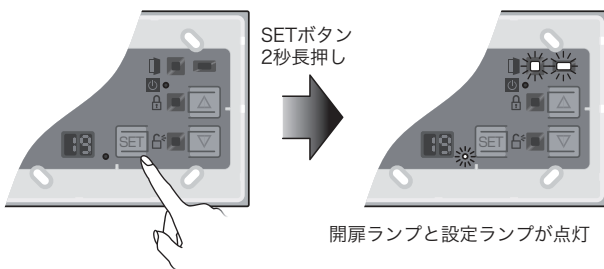
電気錠操作盤の施錠ボタンを
2 秒長押ししてください。
開扉ランプが点灯します。



(モデル CN-83)

表示が "19" になるように、
△ボタンを
18 回押してください。

電気錠操作盤の SET ボタンを
2 秒長押ししてください。
開扉ランプと設定ランプが
点灯します。



3 解錠ランプを確認

室外に出て、リーダーの解錠ランプ(赤色)が点灯していることを
確認してください。登録終了まで点灯します。

4 登録したいカードキーをかざす

登録したいカードキーをかざし、正しく登録されると電子音「ピー」が鳴り施錠ランプ(緑色)が点灯します。



- すでに登録されているカードキーをかざすと電子音「ピーピーピー」が鳴りエラーとなります。
- カードキーは**最大 20 枚**まで登録が可能です。21 枚目をかざすと、電子音「ピーピーピー」が鳴りエラーとなります。



5 登録したいカードキーがまだある場合は4を繰り返す

6 登録モードを終了する

設定スイッチ(モデル CN-83 の場合 SET ボタン)を押すと登録モードが終了します。終了時、リーダーで登録数のカウント表示をします。

7 登録したカードキーの動作確認をする

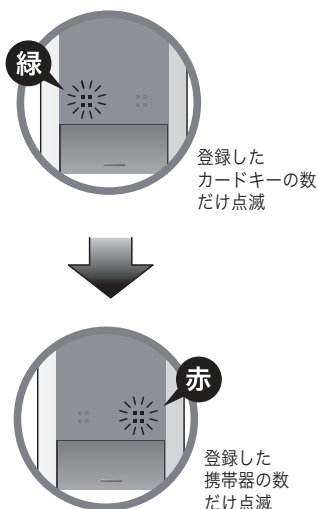
ドアを閉め、登録した全てのカードキーで施錠 / 解錠操作ができるか確認してください。その際、キー(非常キー)は必ず所持してください。続けて携帯機を登録する場合は携帯機を登録してください。

登録数のカウント表示

携帯器、カードキーの登録モード終了時、登録数を音とランプで確認することができます。

まず、カードが登録されている枚数だけ「ピッ」と鳴り、同時に施錠ランプ(緑色)が点滅します。次に、携帯器が登録されている数だけ「ピッ」と鳴り、同時に解錠ランプ(赤色)が点滅します。

どちらも未登録の場合は、「ピーー」と鳴り、施錠ランプ(緑色)が点灯します。



■ 携帯器の追加登録

すでに登録されている携帯器があり、新たに携帯器を追加したい場合
登録してある携帯器を含め、登録したい携帯器を**全て**用意して次の手順で操作してください。

携帯器を登録する

1 携帯器のエクストラボタンを押しながら解錠ボタンを押す

登録する全ての携帯器に対して行ってください。



エクストラボタンを
押しながら
解錠ボタンを押す

2 ドアを開けた状態にする

3 リーダーのリクエストボタンを 4 の 操作終了まで押し続ける

リーダーのリクエストボタンを押し続けてください。
5秒後に解錠ランプ(赤色)が点灯します。
解錠ランプ(赤色)は登録モード終了まで点灯し続けます。

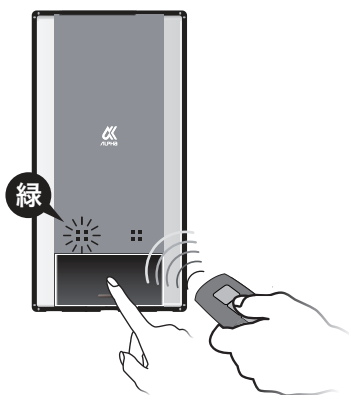


リクエスト
ボタンを押す

4 ランプ点灯後、登録済み携帯器のボタンを2回押す

どのボタンでも登録できます。

1 回目に押した後、電子音「ビッ」と鳴り、
2 回目に押した後、正しく登録されると電子音「ピー」と鳴り、
施錠ランプ(緑色)が点灯します。



携帯器のボタンを2回押す
(リーダーとの距離は20~80cm)

ポイント

- この操作をした携帯器が新しく登録され、今まで登録されていた携帯器は削除されます。(カードキーは削除されません)
- 10 秒間操作しないと登録モード終了し登録数のカウント表示をします。
- ボタンを押している間は登録モードは終了しません。

5 リーダーのリクエストボタンを 6 の操作終了まで押し続ける

6 登録したい携帯器のボタンを 2 回押す

どのボタンでも登録できます。

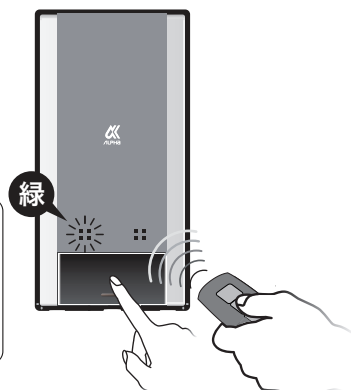
1 回目に押した後、電子音「ピッ」と鳴り、

2 回目に押した後、正しく登録されると電子音「ピー」と鳴り、
施錠ランプ(緑色)が点灯します。

7 さらに追加登録する場合は 5 6 を繰り返す

ポイント

- すでに登録されている携帯器を操作すると電子音「ピーピーピー」が鳴り、エラーとなります。
- 携帯器は**最大 8 個**まで登録が可能です。
9 個目を登録しようすると、電子音「ピーピーピー」が鳴りエラーとなります。



携帯器のボタンを2回押す
(リーダーとの距離は20~80cm)

8 リーダーのボタンを離し、10 秒待ち登録を終了する

10 秒間操作しないと登録モードは終了します。

続けて、登録数のカウント表示をします。

32へ→

9 登録した携帯器の動作確認をする

ドアを閉め、登録した全ての携帯器で施錠 / 解錠操作ができるか確認してください。その際、キー(非常キー)は必ず所持してください。

ポイント

- 2 枚以上のドアに登録する場合は、36へ→ を参照してください。

■カードキーの追加登録

既に登録してあるカードキーがあり、新たにカードキーを追加する場合、登録してあるカードキーを含め、登録したいカードキーを **全て** 用意して次の手順で操作してください。

カードキーを登録する

1 ドアを開けた状態にする

2 登録済みのカードキーを5秒かざす

電子音「ピー」が鳴り、登録終了まで解錠ランプ(赤色)が点灯します。



- この操作でかざしたカードキーが新しく登録され、今まで登録されていたカードキーは全て削除されます。(携帯器は削除されません)
- 10 秒間操作しないと、登録モードを終了し登録数のカウント表示をします。
- 登録されていないカードキーをかざすと「ピーピーピー」と鳴りエラーとなります。

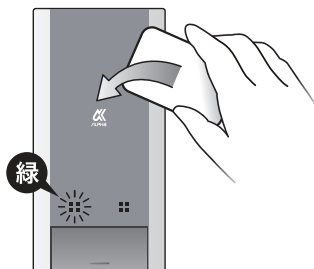


3 登録したいカードキーをかざす

登録したいカードキーをかざし、正しく登録されると電子音「ピー」が鳴り施錠ランプ(緑色)が点灯します。



- すでに登録されているカードキーをかざすと電子音「ピーピーピー」が鳴りエラーとなります。
- カードキーは**最大 20 枚**まで登録が可能です。21 枚目をかざすと、電子音「ピーピーピー」が鳴りエラーとなります。



4 さらに追加登録する場合は 3 を繰り返す

5 10 秒待ち、登録を終了する

10 秒操作しないと登録モードは終了します。

続けて、登録数のカウント表示をします。

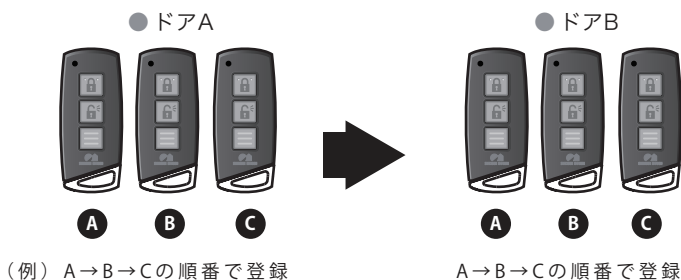
6 登録したカードキーの動作確認をする

ドアを閉め、登録した全てのカードキーで施錠 / 解錠操作ができるか確認してください。その際、キー(非常キー)は必ず所持してください。

2枚以上のドアに登録する場合

携帯器は、それぞれのドアに同じ順番で登録してください。

異なる順番で登録すると、最初に登録したドアAの登録が無効になります。



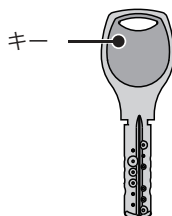
ポイント

- 2枚以上のドアに登録する場合、携帯器は同じ順序で登録してください。
カードキーの登録順序は問いません。
- 登録終了後は、登録した全ての携帯器で施錠/解錠操作ができるか確認してください。
その際、キー(非常キー)は必ず所持してください。

■セキュリティカードについて

セキュリティカードは、オーナーであることを証明する大切なカードです。

追加キーをご注文の際は、セキュリティカードを提示していただいた場合のみお請けいたします。



キーヘッド (非常キー)

！重要

- セキュリティカードを破損、紛失、盗難された場合
カードの再発行は安全上の理由で行いません。
- セキュリティカードは安全な場所に保管してください。

■電子キーを紛失した場合

携帯器を紛失した場合

携帯器を紛失した場合や特定の携帯器を使用できなくなる場合は、下記の手順で再登録を行ってください。

！
重要

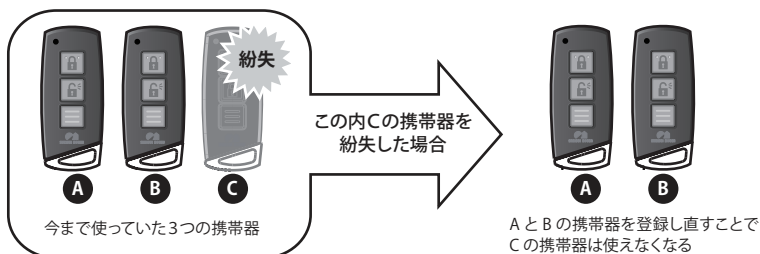
- 携帯器を紛失した場合、その携帯器を第三者が使用する可能性が考えられます。紛失した携帯器を使えなくするためにも、ただちに対処してください。
- 携帯器には所有者の名前、住所がわかるような内容を記入しないでください。
- 特定の携帯器だけを指定して削除することはできません。

1 「携帯器の追加登録」33ページ→に従って再登録する

新たに登録した携帯器に上書きされ、それ以外の携帯器を使用できなくなります。

😊
ポイント

- 紛失した（登録しなかった）携帯器が使用できなくなります。



カードキーを紛失した場合

カードキーを紛失した場合や特定のカードキーを使用できなくなる場合は、下記の手順で再登録を行ってください。

！
重要

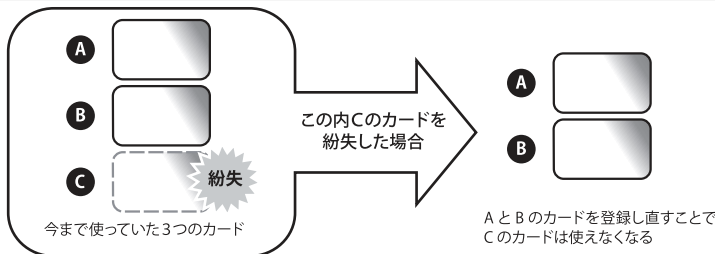
- カードキーを紛失した場合、そのカードキーを第三者が使用する可能性が考えられます。紛失したカードキーを使えなくするためにも、ただちに対処してください。
- カードキーには所有者の名前、住所がわかるような内容を記入しないでください。
- 特定のカードキーだけを指定して削除することはできません。

1 「カードキーの追加登録」35ページ→に従って再登録する

新たに登録したカードキーに上書きされ、それ以外のカードキーが使用できなくなります。

😊
ポイント

- 紛失した（登録しなかった）カードキーが使用できなくなります。



携帯器の電池交換方法

電池が消耗してくるとボタンを押したときに作動確認ランプが点滅します。その場合は、速やかに電池を交換してください。
携帯器用の電池は、コイン型リチウム電池CR2032です。カメラ店、家電販売店などでお買い求めになります。

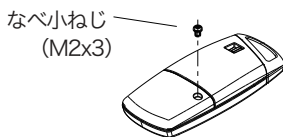


重要

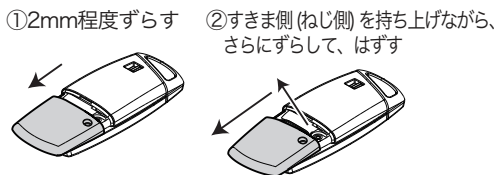
- ご購入時の電池は、動作確認用の電池です。初めてお使いになる前に電池交換される事をおすすめします。
- 携帯器の電池寿命は約2年程度です。
- 携帯器の電池は電池切れにならなくても2年ごとに新しい電池と交換してください。電池の液漏れや腐食により故障の原因となる場合があります。
- エクストラボタンを繰り返し押すと、携帯器の電池が消耗し、電池寿命が短くなります。
- 携帯器は常時電波を受信しているので、全く使用しない場合でも電池は消耗します。また、強い電波を受信し続けた場合に電池を著しく消耗することがありますので、テレビ・パソコンなどの家電製品の近くに長時間放置しないでください。
- 電池交換時、静電気を体内に帯電させた状態では携帯器の部品が故障する恐れがあります。電池交換する際は一度ドアノブなどの金属物に触って静電気を逃がしてから行ってください。また、セーターなど静電気がたまりやすい衣類を着たまま行わないでください。
- 電池及び取りはずした部品を誤ってお子様が飲み込んだりしないようにしてください。
- 電池交換は、電子部品保護のため濡れた手、汚れた手で行わず、必ず下記の方法にしたがって行ってください。

電池を交換する

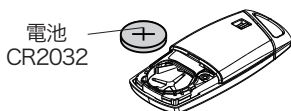
1 携帯器裏側のねじをはずす



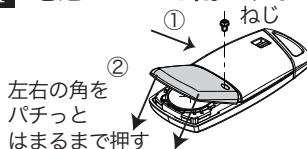
2 電池カバーをはずす



3 電池を取り出し、新しい電池を入れる



4 電池カバーを閉め、ねじをしめる



重要

- 基板に触れたり・はずしたりしないでください。
- 電池を取り出すとき、電気を通す金属性のものは使用しないでください。
- 電池は、プラス(+)側を上にしてください。
- ドライバーは、#1を使用してください。
- ねじは、M2x3を使用してください。

ポイント

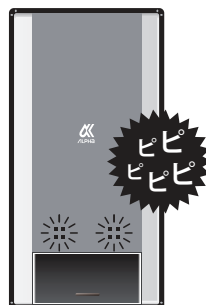
- 電池カバーがはずしづらい場合、マイナスドライバーなどをすきまに差し込んではずしてください。その場合は、電池カバーが傷つかないように、マイナスドライバーなどに布を巻いてください。

■施錠 / 解錠動作に異常が生じた場合

施錠あるいは解錠できなかった場合

作動途中に施錠あるいは解錠できなかった場合、電子音が「ピピピピピ」と鳴り、その後赤色/緑色ランプが5秒間点滅し異常を知らせます。

デッドボルトがストライクへ確実に収まっているか確認し、デッドボルトがストライクにぶつかったり、こすれている場合には建付調整を行ってください。また、異常が発生し上側または下側の片側のみ施錠されている場合でも「施錠」表示（緑ランプ点灯）となります。再度、施解錠操作を行い、2ロックともに施錠させてください。



その他の異常の場合

その他の異常に関しては、「故障かなと思ったら」[43ページ](#)に書かれている状態と照らし合わせて確認してください。

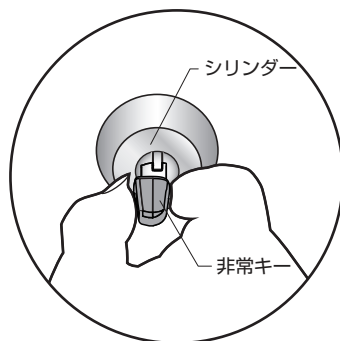
■停電や機器故障時の操作

停電等で電気錠を操作できなくなった場合、室外側はキーで、室内側はサムターンで施錠/解錠してください。

電気錠動作中の停電等による動作停止以外は上記操作で施錠/解錠できます。

※ 非常キーは、携帯器に収納されています。

詳しくは [5ページ](#) の「非常キーのはずし方」をご覧ください。



重要

- 停電や機器故障に備えて外出時は必ずキーを所持してください。
- 停電したタイミングにより、片側だけの施錠（解錠）になることがあります。
- 停電したタイミングにより、手動施錠できない場合があります。
- 手動解錠は、停電のタイミングによらずに、操作することができます。
- 停電などから復旧後、電動で操作するとロックが復帰し、通常の操作ができるようになります。

■電気錠・リーダー・増設操作盤の再登録

停電等により電源が切れた場合でも、復旧後は通常の操作が可能です。万が一電気錠・リーダーの設定がクリアされてカード・操作盤での操作ができない場合は再登録してください。

電気錠を登録する

1 ドアを閉め、解錠状態にする

ロックは上下とも、解錠してください。

2 設定モードにする

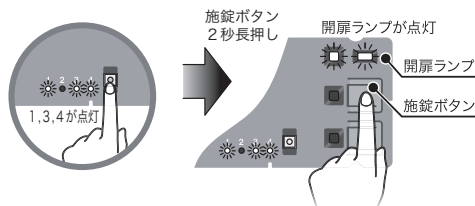
設定モードに切り替えてください。15~16ページ

3 電気錠登録モードを開始する

(モデル CN-80,81,82)

設定ランプ1, 3, 4が点灯するまで
設定スイッチを10回押してください。

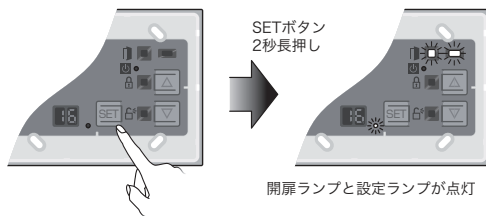
次に、電気錠操作盤の施錠ボタンを
2秒長押ししてください。
開扉ランプが点灯します。



(モデル CN-83)

表示が"16"になるように、
△ボタンを15回押してください。

次に、電気錠操作盤のSET ボタンを
2秒長押ししてください。
開扉ランプと設定ランプが点灯します。



4 上のサムターンを施錠し、続けて解錠する

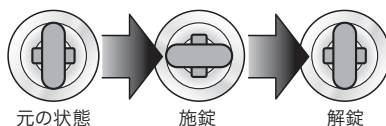
解錠状態のサムターンを施錠→解錠してください。

5 4の操作を下のサムターンも行う

6 ドアを開ける

7 設定スイッチまたはSETボタンを押す

電気錠操作盤の施錠ランプ(緑)が1秒点灯し、登録モード終了します。



● 登録失敗の場合、電気錠操作盤の解錠ランプ(赤)が1秒点灯します。
再度、最初から登録してください。

8 動作確認をする

電気錠操作盤で、正しく動作するか確認してください。

リーダーを登録する

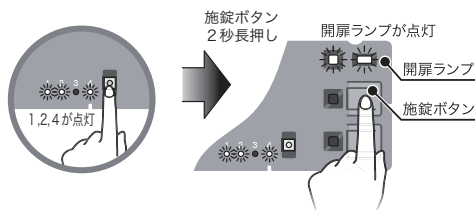
1 設定モードにする

設定モードに切り替えてください。15~16ページ

2 リーダーの登録モードを開始する (モデル CN-80,81,82)

設定ランプ 1, 2, 4 が点灯するまで
設定スイッチを 12 回押してください。

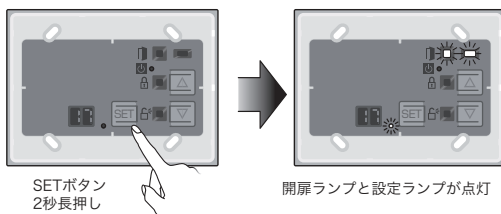
次に、電気錠操作盤の施錠ボタンを
2 秒長押ししてください。
開扉ランプが点灯します。



(モデル CN-83)

表示が "17" になるように、
△ボタンを 16 回押してください。

次に、電気錠操作盤の SET ボタンを
2 秒長押ししてください。
開扉ランプと設定ランプが点灯します。



3 リーダーのリクエストボタンを押す

リーダーのリクエストボタンを押してください。
施錠ランプ(緑色)が点灯し、電子音「ピー」が鳴ります。



4 設定スイッチまたはSETボタンを押す

電気錠操作盤の施錠ランプ(緑)が 1 秒点灯し、
登録モード終了します。



- 登録失敗の場合、電気錠操作盤の解錠ランプ(赤)が 1 秒点灯します。
再度、最初から登録してください。

5 動作確認をする

電子キーで施解錠が正しく動作するか確認してください。

増設操作盤を登録する

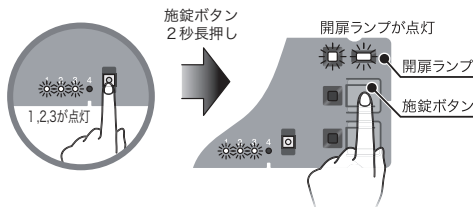
1 設定モードにする

設定モードに切り替えてください。 **15~16ページ**

2 増設操作盤登録モードを開始する (モデル CN-80,81,82)

設定ランプ1, 2, 3 が点灯するまで
設定スイッチを 13 回押してください。

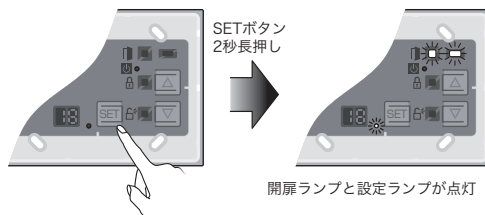
次に、電気錠操作盤の施錠ボタンを
2 秒長押ししてください。
開扉ランプが点灯します。



(モデル CN-83)

表示が "18" になるように、
△ボタンを 17 回押してください。

次に、電気錠操作盤の SET ボタンを
2 秒長押ししてください。
開扉ランプと設定ランプが点灯します。

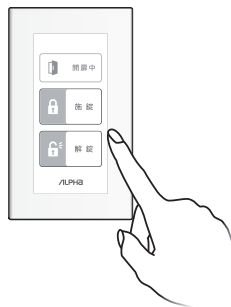


3 増設操作盤の施錠または解錠ボタンを押す

施錠ランプ(緑)解錠ランプ(赤)が両方点灯します。



- 複数ある場合は、他の増設操作盤もボタンを押して登録します。
一度に登録しないと、正常に動作しません。



4 設定スイッチまたはSETボタンを押す

電気錠操作盤の施錠ランプ(緑)が 1 秒点灯し、
登録モード終了します。



- 登録失敗の場合、電気錠操作盤の解錠ランプ(赤)が 1 秒点灯します。
再度、最初から登録してください。

5 動作確認をする

すべての増設操作盤で、正しく動作するか確認してください。

■故障かなと思ったら

表の内容を確認しても正常に作動しない場合は、最寄りの取扱店にお問い合わせください。

現象	考えられる原因	対処方法
全く作動しない。リーダーの施解錠ランプ（赤・緑）が点灯しない	停電などで製品に電源が供給されていない	ブレーカーや他の電化製品も確認してください。
リーダーのリクエストボタンまたは携帯器のどの「  施錠」「  解錠」ボタンを押しても作動しない	携帯器が作動範囲内にない	携帯器が作動範囲にあるか確認してください。 3ページ
	携帯器の電池が切れている	新しいリチウム電池(CR2032)に交換してください。 38ページ
	携帯器が登録されていない	携帯器を登録してください。 29ページ
	誤操作防止機能が設定されている	誤操作防止機能の設定を確認してください。 9ページ
携帯器を持ってリクエストボタンを押しても作動しない	携帯器の置き忘れ防止機能およびスリープ機能が働き一時的に使用できなくなっている	携帯器の「  施錠」「  解錠」ボタンを作動範囲以内(1.5m)で押してください。その後、リーダーのリクエストボタンを押し作動を確認してください。 7ページ 8ページ
	不正開錠防止機能が設定されている	不正開錠防止機能の設定を確認してください。 10ページ
携帯器・カードキーで施錠できない	ドアが開いている	ドアを閉めてください。
キーやサムターンで施錠できない	電気錠動作中に停電等により電源が切れた	停電や機器故障時の操作を行ってください。 39ページ
携帯器・カードキーで施錠できない（モーターの作動音がし、数秒後に「ビビビビビ」という電子音が鳴りリーダーの施解錠ランプ（赤・緑）が点灯する）	ドアが完全に閉まりきらない状態で操作したため、デッドボルトが途中で止まった	ドアがしっかり閉まっていることを確認してください。その後、再度パッシュ又はリモコン操作で動作の確認をしてください。 ※サムターンでも施錠できない場合は、ストライクとドアクローザーの調整が必要です。 39ページ
携帯器の作動距離が極端に短くなり、ボタンを押すと作動確認ランプが点滅する	携帯器の電池が消耗している	新しいリチウム電池(CR2032)に交換してください。 38ページ
携帯器を所持しているのに、リーダーのリクエストボタンで施錠/解錠ができず、「ビビビビビビ…」と置き忘れ防止機能が働く	所持している携帯器に振動が伝わらず静止（置き忘れ）と判断している	携帯器に振動を与えてください。
	所持している携帯器以外に別の携帯器が近くに置き忘れられている	別の携帯器が作動範囲内にないか確認してください。または、「ビビビビ…」と(10秒間)警告音が終了するまで待ち、別の携帯器を無効にさせた後、施錠操作を行ってください。
カードキーをかざしても何も反応しない（電子音が鳴らない）	停電などで製品に電源が供給されていない	ブレーカーや他の電化製品も確認してください。
	他のICカードや電子キーと一緒に重ねている	定期入れに複数のICカードが入っていると使用できない場合があります。カードだけをかざしてください。
	カードキーのかざし方が悪い	カード面とリーダー部表面の距離が2.5cm以内まで近づくようにかざしてください。
	金属、アルミ箔などと重ねている	鍵、硬貨、電子機器（携帯プレーヤーなど）、たばこの箱（中袋がアルミ箔）など金属製品と重ねないで使用してください。
	かざしている場所が通信可能な範囲からはずれている	リーダーの  マークにカードの中心が重なるようにかざしてください。

仕様

WS800 仕様	
動作電圧	AC100V ±10%（電気錠操作盤供給電源）、50/60Hz
消費電力	最大 25W
登録可能携帯器数	最大 8 個
登録可能カード数	最大 20枚

リーダー仕様	
認証キー(カード)	アルファ発行のFeliCa カード/MIFARE カード、ISO15693
パッシブ交信範囲	約 20cm～80cm ※ 設置環境により交信性能は変動します。
リモコン交信範囲	室外側約 1.5m ※ 設置環境により交信性能は変動します。
カード通信距離	25mm以内 (カード中心と  マーク中心とを合わせ、平行に配置した場合)(周辺環境による)
送信周波数 (LF)	125.0kHz
送信変調方式 (LF)	ASK
送信強度 (LF)	微弱（国内電波法）
受信中心周波数 (UHF)	315.0MHz
カード周波数	13.56MHz

携帯器仕様	
使用電池	CR2032 コイン型リチウム電池 (DC3V)
動作電流	最大 15mA
送信周波数 (UHF)	315.0MHz
送信変調方式 (UHF)	FSK
送信強度 (UHF)	微弱（国内電波法）
受信中心周波数 (LF)	125.0kHz
電池寿命	約 2 年 （「施錠/解錠」を1サイクルとして1日10サイクル、閉め忘れお知らせ機能は1日10回 使用）
ID 違い数	40 億以上（理論値）

使用環境	
周辺温度	電気錠：-10℃～+55℃(凍結無きこと)
	リーダー：-10℃～+55℃(凍結無きこと)
	電気錠操作盤・増設操作盤：0℃～+50℃(凍結無きこと)
	携帯器：0℃～+40℃(凍結無きこと)
	ICカード：使用時 0℃～+40℃（凍結無きこと）
周辺湿度	90%RH 以下（結露無きこと）

※ FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
※ FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
※ MIFAREは、NXPセミコンダクターズ社の登録商標です。

Handwriting practice area with horizontal lines and dashed midlines.

[illegible]

保証規定

1. 取扱説明書の注意書きにしたがった正常な使用状態でご購入後 1 年以内に故障した場合には無償修理または交換いたします。
2. 無償保証期間内に故障して修理・交換が必要な場合は取扱店または当社サービス窓口にご連絡ください。
3. 無償保証期間内でも次の場合は有償となります。
- (1) 取扱説明書や表示ラベル、取付説明書などに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合。
 - (2) 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
 - (3) 天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災、騒乱など）に起因する不具合。
 - (4) 当社が定める取付説明書等に基づかない取付、当社が認めた者以外による修理、改造（必要部品の取り外し、他社部品の取付を含む）などに起因する不具合。
 - (5) 商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合。
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
 - (6) 当社商品以外の部品に起因する当社商品の不具合。
 - (7) 犯罪などの不正な行為に起因する破損や不具合およびそれらによる損害。
 - (8) 商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）や経年劣化（樹脂部品の変質、変色など）またはこれに伴うさび、かびまたはその他の不具合。
 - (9) 実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
 - (10) 犬、猫、鳥、鼠などの小動物や虫および植物の蔓、蔦、根などに起因する不具合や損傷。

もし保証サービスが必要になった場合は、取扱店または当社サービス窓口にご連絡願います。その際は、下記保証書の提示が必要となります。

※消耗部品である電池は保証対象外部品です。

※製造日より耐用年数を超えるものについては保証外とさせていただきます。

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は取扱店または当社サービス窓口へお問い合わせください。

※保証対象は初回ご購入者本人のみとし、保証書の再発行はいたしません。大切に保管願います。

※本書によりご提供いただきました個人情報などにつきましては、関連するアフターサービスのお知らせ・ご連絡のために利用させていただきます。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only for Japan.

保証書	品 名			
	品 番		製造番号	
	お客様	ご住所	〒 TEL	
		ご氏名	様	
	取扱店名・住所・電話番号		お買上月日	年 月 日
		保証期間	お買上日より 1 年 間	

取扱店様へ
ご記入後、アルファの FAXNo. へ送信していただく様お願いいたします。
FAX:045(787)8427

株式会社アルファ



□住設機器事業部
〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 1-6-8

サービス窓口
045 (787) 7422

ホームページ
<http://www.kk-alpha.com>

*当社はISO9001・ISO14001を認定取得しています。